



兵協連だより

HYOGO CONSUMER'S CO-OPERATIVE UNION

2017 **2**



1月7日(土)、兵庫県民会館（神戸市中央区）において、「第12回 新春トップセミナー・賀詞交換会」を開催。会員生協・団体の役職員45人が参加したセミナーでは、「今、あらためて問われる地域（まち）づくりと、生協への期待」について学びました。また、賀詞交換会では、行政と会員生協のみなさまが交流を深めながら、新年への決意を新たにしました。（関連記事P.3）



兵庫県漁業協同組合連合会
(JF 兵庫漁連) 専務理事

突々 淳

(とつとつ・きよし)

協同組合間協同

小学生の頃から赤穂城のお堀や川で鮒を釣り、高校の頃には川ですくったメダカを餌にメバルの探り釣りをすることが趣味で、家庭は漁業に無関係であったけれど、大学の専攻が栽培漁業学科であったことから、昭和59年にJF兵庫漁連にお世話になりました。もともと、私はまじめさに欠けており、協同組合の役割や仕事内容も知らないまま就職してしまいました。が、初めての部署では、海の環境保全や栽培漁業・資源管理の推進、漁協青年部や兵庫JCC事務局など幅広く担当させて頂いたとき、毎日が新しい発見と熱心な漁師さんや生協、農協、森林組合の方々との出会いが楽しく、自分自身が変わっていったと振り返っています。「海、見てみいや。」と漁船に乗せてくれた青年部の方は組合長や役員になり、イカナゴ新子や明石だこの販売をする部署に平成4年に配属になった時には、浜でいつも一緒にあったコープのバイヤーも幹部になっています。こんな人と人との繋がりが信頼となり、それが協同組合間協同を生みだします。それが「地産地消推進プロジェクト」のとれびち事業です。それでは、成功の2つの要因をお話しします。一つ目は人の繋がりと信頼です。平成25年のある日、コープこうべの統括

バイヤーから何年振りかの電話がありました。彼が熱心に提案するならできると感じ協力を約束しました。その後の課題も一つ一つ相手の立場にたつて誠心誠意解決にあたってくれています。二つ目は、お互いが経済事業部だけの事業にしなかったことです。コープの組織部署のバックアップと本会の魚食普及を担当する「SEAT CLUB」が本来の機能をいかんなく発揮し、組織全体で本気に取り組んだことが良かったと思います。組合員に食べ方を普及し、また次の組合員へ教えていく協同組合らしさが成功エキスとして詰まっています。当初、組合員への普及活動が企業PRの域から一歩踏み出せなかった時、地区本部長が組合員とクッキングサポーターを対象に魚料理と地産地消推進の勉強会を企画してくれました。この本部長も30数年前の兵庫JCCで一緒に仕事した仲間だったのです。2012年の国際協同組合年で協同組合の素晴らしさを改めて学び、この「とれびち事業」の実践がそれを再認識させています。これからも、協同組合らしさを追求し、ほちほちと協同組合が発展していくことに私自身も貢献できればと思っています。

CONTENTS

2. 想点	5. 単協通信 西宮市職員生活協同組合／ 甲南大学生生活協同組合
3. 新春トップセミナー・賀詞交換会 報告／ 兵協連「第2回 東日本被災地支援活動」報告	6. 協同組合のかけ橋
4. 「『兵協連だより』通信員・広報担当者研修会」のご案内／ 兵庫JCC「虹の仲間づくりカレッジ」報告	7. 兵庫県のページ／ヨッシーの窓
	8. 「ひょうご消費者セミナー2016」のご案内／ 県連日誌／編集後記

新春トップセミナー・賀詞交換会を開催

1月7日(土)、兵庫県民会館において、12回目の開催となる「新春トップセミナー・賀詞交換会」を開催。兵庫県から5人の方々をお迎えしました。また、会員生協の役職員、共栄火災海上保険株式会社をはじめ、45人の方々にご参加いただき、新年の決意を新たにする機会となりました。

新春トップセミナーでは、本田英一 会長理事の開会挨拶に続き、兵庫県知事 井戸敏三 様よりご挨拶をいただき、生協への期待を込めた歌「一人ひとり自立しててもつながっている 協同と連帯これが生協」を詠まれました。その後、神戸学院大学 総合リハビリテーション学部 社会リハビリテーション学科 教授 藤井 博志 様による、「今、あらためて問われる地域（まち）づくりと、生協の役割」について、ご講演いただきました。地域福祉の視点からこれからの地域づくりについて①住民の自治形成が必要（主体力をつける）なこと②専門職や事業者が地域づくりの一員として住民と協働することを滋賀県高島市の取り組みを挙げながら話され、会場の参加者は熱心に聴き入りました。



講演される
藤井 博志 教授

挨拶される
兵庫県 井戸 敏三 知事

その後、開催された賀詞交換会には、兵庫県の消費者行政のご担当の方々にもご参加いただきました。本田英一 会長理事の挨拶に続き、ご来賓を代表して兵庫県政策創生部長 山口 最丈 様のご挨拶で和やかに会がスタート。日頃からお世話になっている行政の皆様と会員生協・団体の皆様賀詞交換を通じて交流を深めました。

兵協連 第2回 「東日本被災地支援活動」報告

クリスマス&芋煮会

兵庫県生協連では、「一般社団法人ING」の支援活動に合流する形で2013年度から宮城県亶理郡山元町への支援活動を継続的に行っています。これまでに10回、延べ40人が参加しています。10月に続き、12月9日(金)~10日(土) 山元町花釜地区での支援活動に、コープこうべ 西澤由香さん、宝塚医療生協 岡澤正勇さん、神戸市民生協 有元雅人さん、兵庫県生協連 事務局 大戸の4人が参加しました。

9日夜、船岡の支援センターに到着。神戸医療生協5人の方々と翌日の打合せをしました。

10日午前、支援センターを出発し、被災地（関上地域）を見学しながら、JR常磐線坂元駅に到着。山元町を走るJR常磐線が、この日、5年9か月ぶりに開通しました。坂元駅では地域の方々が出す屋台が、山下駅では開通式があり、多く人で賑わっていました。JR坂元駅~JR山下駅まで電車に乗り、山下駅から役場（災害時には避難所に）まで広い道路で結ばれた避難道をたどりました。その後、花釜区交流センターで、みやぎ県南医療生協の皆さんに迎えられ、クリスマス会の準備（健康チェック・おにぎり・プレゼント）をしながら地域の方を待ちました。クリスマス会では、健康チェックのお手伝いや神戸協同病院リハビリテーション科の職員さん2人が、腰痛体操と認知症予防体操を披露、また兵庫で集めたプレゼントを地域の方に手渡し、会場で笑顔がこぼれました。最後にみんなで芋煮を食べて、交流しました。

クリスマス会後に、花釜区の岩佐区長さんが駆けつけてくださり「取り組みは年中行事化されていますが、被災者の心は365日が苦しみであり、5年が過ぎ、疲れてきています。しかし、元気に頑張っていることを皆さんに伝えてください」と話されました。

交流と見学を終えて、現地での支援や行かなくてもできる支援を継続することの重要性を感じ、宮城を後にしました。山元町での支援活動はこれからも続いていきます。兵庫県生協連は今後も支援活動への参加を呼びかけていきます。



列車内には、津波警報発令時に車外へ出る方法が掲示されていました。



何が当たるかお楽しみ！



みやぎ県南医療生協と支援者のみなさん（花釜区交流センター）

感謝

この施設は、阪神・淡路大震災を経験した兵庫県民から、東日本大震災被災地に対して地域コミュニティ再生を目的とした寄付金をいただき整備されました。

平成28年2月
宮城県山元町花釜区



2016年度『兵協連だより』通信員・広報担当者 研修会

●日時：3月10日(金) 10時00分～12時00分

●場所：株式会社甲南堂印刷 御影スタジオ

お申し込みは
先着順
20名

テーマ：「撮影現場で学ぶ！
デジタルカメラを使いこなすコツ」

講師：八尾 剛至 さん（株式会社甲南堂印刷 フォトグラファー）

様々なイベント等の写真撮影でカメラの操作がわからず困ったことはありませんか。屋内外で良い写真を撮るためのちょっとしたコツやマナーについて学びます。撮影スタジオの見学もあります。

参加対象：会員生協『兵協連だより』通信員および広報担当者

※お申込みいただいた方に、集合場所（阪神御影駅を予定）や時間、持ち物等をお知らせいたします。



甲南堂印刷 御影スタジオでの撮影風景

お申し込み・お問い合わせ：兵庫県生活協同組合連合会(担当:大戸) TEL.078-391-8634

“共に働き、共に捧げる”協同組合の本質を学ぶ

兵庫JCC「虹の仲間づくりカレッジ」実践報告 Part.2

8月と9月の「虹の仲間づくりカレッジ」で、企画した「大学生に伝えたい食について」前号に引き続き、12月の実践を報告します。

企画名

「ひょうご鍋」ツアー



山チームの里芋収穫体験



海・山の幸で「ひょうご鍋」ができました！

12月4日(日)エコファーム（みずほ協同農園）で行われました。参加者は、兵庫県立大学の学生14人で、神戸医療生協、コープこうべ、JA 兵庫中央会、JA 共済連兵庫、兵庫県漁業協同組合連合会、兵庫県信用漁業協同組合連合会の役職員が企画。栄養バランスの良い鍋の魅力や地域の食料自給率を高める大切さを知ってもらうため、兵庫の食材を使ったオリジナル鍋づくりに挑戦しました。山と海のチームに分かれ、山チームはみずほ協同農園、海チームは姫路の坊勢漁協へ。山チームは、施設見学後、里芋の収穫作業を体験、海チームは底引き網漁を体験し、それぞれ鍋に必要な食材を調達しました。午後からは、3チームに分かれ、とれたて野菜と魚を使って、味噌・醤油・水炊きで味を競いました。参加者からは「兵庫の食材でこんな美味しい鍋ができるなんて」「野菜や魚を食べることで生産者を応援したい」などの感想がありました。

企画名

「食に関する関心を持とう」
～牡蠣の作業体験を通して～



牡蠣剥きを体験



昼食交流会では牡蠣料理を堪能しました

12月10日(土)、兵庫県漁業協同組合連合会と北但西部森林組合、コープこうべ、甲南女子大学生協、兵庫労働共済生協の役職員が企画。「牡蠣の作業体験を通じて生産の苦労や現状を学ぶ」「地元の美味しい食材を知り食事を楽しむ・地元食材の良さを知る」ことを目的として、関西国際大学の学生（主に一人暮らしの下宿生）11人が参加しました。午前中は相生市坪根地区の「竹内水産」様に協力いただき、養殖牡蠣の牡蠣剥きと牡蠣掃除を体験。また、牡蠣養殖の過程、収穫から出荷までの流れ、兵庫県の水産物の現状などを学びました。昼食には焼き牡蠣をはじめ浜の牡蠣料理を堪能し、午後からは相生市内の「道の駅」を視察しました。

参加者からは、「牡蠣生産にたくさんの人手がかかることを知った」「兵庫県産の水産物の豊富に驚いた」「日頃の食事にもっと関心を持っていきたい」などの感想がありました。

西宮市職員生活協同組合

阪神競馬場にて

東北復興応援イベント参加

12月10日(土)阪神競馬場で「西宮市女川町・南三陸町応援有志の会」によるホタテしようゆバター焼き・物産販売・パネル展示が行われました。当生協も物品の調達から、準備・撤収まで担当し、復興応援イベントに加わりました。

当日は南三陸町の職員や、女川の漁村でコミュニティハウスの活動をされている方も参加し、震災当時から現在の復興状況までをパネルで説明していただきました。



女川から直送のホタテ



宮城県女川町・南三陸町の物産即売会



パネル展示

(通信員 宮田正樹)

また女川のホタテは身が厚くやわらかく、大変美味で1500個を完売し、物産ではサンマの加工品、かまぼこ、海藻類を買い求める人で賑わいました。

競馬場という特殊な会場でしたが、多くの人に利用していただき、今後は定例のイベントにしていきたいと思っています。

甲南大学生生活協同組合

「新入生サポートアドバイザースタッフ研修合宿」を実施しました

研修合宿

12月3日(土)～4日(日)に、甲南大学白川台セミナーハウスで、新入生サポートアドバイザースタッフの研修合宿を行いました。

面接を終えた学生アドバイザースタッフ10名と生協職員との合宿でした。

甲南大学生協では、毎年、1月と3月に合格者保護者説明会を開催しています。新入生の入学前の不安を解消し、夢と希望をもって大学生活へのスタートを踏み出してもらおうとの、生協主催の説明会となりますが、大学からもご協力いただき、大学生活に関するお話をいただいています。

新入生サポートアドバイザーからは、本学在校生の立場で新入生へのアドバイスをお願いしています。

例年のアンケート結果でも、先輩からの話は特に評価が高く喜ばれています。

例えば、大学での授業



研修の様子

の様子、時間割の組み方、大学でのパソコン活用事例等、学生ならではのアドバイスもしてくれています。

合宿では、先輩サポートアドバイザーの経験談を聞き、メール&テキストカードやパソコン・電子辞書や共済の説明を受けた後、新入生に正しい情報を伝えられるように、班ごとにロールプレイングで練習を重ねました。

サポートアドバイザースタッフの中心メンバーとして、合格者保護者説明会や新入生サポートセンターで活躍してくれることを期待しています。

(通信員 中谷満子)

協同組合のかけ橋

JF

JF 兵庫漁連

第1回乾のり入札会を開催

全国でも有数のノリ生産量を誇る兵庫県の第1回ノリ入札会（共販）は、12月17日(土)にJF兵庫漁連のり流通センター（加古郡播磨町）で、全国からノリ入札商社42社（約110人）が集まり開催され、共販会場は活気に包まれました。

今漁期のノリ養殖の状況については、漁期当初、海水温が高く推移したため、作業に遅れが生じ、水温降下も鈍かったことから、その後のノリの芽の生育は良くなかったが、ノリの成長に欠かせない栄養塩は平年並みで推移しており、水温が下がってくるとノリの成長も順調に進むと予想され、今後に期待が持てます。

第一回目の共販にあたり挨拶を行ったJF兵庫漁連 田沼 政男会長は「海水温が高い影響などから、ノリ生産の難しさを実感しているが、お陰さまで第1回目の共販を開催することが出来た。ノリ養殖には欠かせない栄養塩等の取組みについては、今後、県と連携してよりよい環境を目指して、皆さんの期待に十分応えるよう努力していく」と話されました。続く、兵庫海苔入札指定商組合 松谷 晃理事長（松谷海苔(株)社長）は「近年は全国的にノリ生産が不安定であるが、生産者の意欲を維持するような価格も必要だと兵庫には潤沢で安定した生産を期待したい」と挨拶をされ、兵庫における安定したノリ生産に期待を寄せられました。今漁期の入札会は、この後13回が予定され、最終共販日の5月9日(火)となっています。

また、毎年宮内庁へ献上しているノリの審査会も、この日、同センターで行われ、色・艶・味などの項目で審査した結果、JF明石浦の「新優」が選ばれ、21日(水)に田沼会長により宮内庁に持参献上されました。



早朝から多くの方が詰めかけました 献上ノリの審査の様子

JA

JA 兵庫中央会

コープこうべとJAが「協同組合塾」 ～課題認識の共有と職員の相互交流～

協同組合としての課題を共有し、職員の役割について考えるとともに、相互交流を図ることをねらいに、生活協同組合コープこうべとJA兵庫中央会が「協同組合塾」を共催しました。平成28年度は8月、10月、11月の3日間、三木市内の協同学苑で開催し、コープこうべとJAの職員延べ98人が参加しました。

第1回は、関西大学商学部の杉本貴志学部長が、「これからの地域社会における協同組合の役割—歴史と現状から21世紀型協同組合の役割を考える—」、第2回は、京都生活協同組合の福永晋介さんが「『協同組合原則』と『援農隊』地産地消について考える」と題して講演。第3回は、コープこうべの山口一史理事長が「生活協同組合の礎とあした」、JAたじまの尾崎市朗代表理事組合長が「JAたじまの事業活動と営農振興の取り組み」と題してそれぞれ講演しました。

講演後にグループワークを実施。講演の感想を話し合った後、地域社会が抱える課題に対して、協同組合として「やっていること」「やりたいこと」を意見交換しました。受講生は、「お互いの長所や補える点を明確にし、協同組合間協同によって、今抱えている課題や問題にアプローチしたい」「お互いの取り組みを知る事で、生協とJAの両者の強みが見えてきた」「今後の事業展開の広がりを感じた」などと話していました。



グループワークで意見交換する生協とJAの職員



最近の消費生活相談事例

お試しの健康食品を申し込んだら 定期購入が条件でした。SNSの広告にご注意!

事例

高校生の娘が、スマートフォンでSNSサイト閲覧中、人気モデルがプロデュースした健康食品をお試し価格100円で購入できるという広告を見て申し込みました。翌月も商品が届いたため、ウェブサイトを確認すると、小さな文字で「4回の定期購入が条件で、2回目以降の価格は『4,400円』」と書いてありました。100円で購入できるということで申し込んだので、2回目以降の商品は購入したくありません。(40代・女性)

【アドバイス】

SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)とは自分のプロフィールを登録・公開することで、インターネット上において友人・知人等と繋がるウェブサービスですが、これに関連した消費者トラブルは年々増加しています。SNS上の広告には、SNSに登録した個人の年齢、性別、趣味などが反映したのも多く、より個人の興味を惹くような内容になっています。さらに広告が短期間だけの場合もあり、問題があったときに広告が確認できないこともあります。

娘さんに確認したところ、「確認画面には定期コースの購入が条件との表示がなかったため、あくまで100円のお試し商品の申込みだと思っていた」とのことでした。

事業者にも確認したところ、「申込画面には定期購入が条件と明示しているが、確認画面には定期購入が条件との表示はなく、総額の表示もしていない」とのことでしたので、センターから画面の改善を要請しました。

相談者には、申込画面では購入条件が分かりにくく、確認画面に表示がなかったこと、娘さんが2回目以降の購入について明確に認識していなかったこと、未成年者であることなどを事業者に説明して、解約を申し出るようにアドバイスしました。

困った時は、一人で悩まず、すぐにお近くの消費生活相談窓口にご相談しましょう。

(兵庫県生活科学総合センター)

適格消費者団体 NPO 法人ひょうご消費者ネット

ヨッシーの窓

みなさま、こんにちは。適格消費者団体 NPO 法人ひょうご消費者ネットの吉江です。

空は、重たい雲で覆われる日も多く、冷たい風に吹かれると、自然と背中も丸まってしまう。1月のことですが、私、二十数年ぶりに風揚げをしました。いくつになっても、風が上手にあがると、とても、とても、うれしく感じるものですね。

さて、今月は、少し、最近の感じたことを書いてみようと思います。最近、大学生の中で「起業する」「会社を設立する」ということに興味を持つ人も増えています。そんな学生さんに「ビジネス」と称した悪質商法への勧誘も増えているように感じます。どのような謳い文句かと言うと、「〇〇をするだけで、利益を得ることができる。これは素晴らしいビジネスだ」というようなものです。もちろん、「〇〇をするだけ」と言っても「〇〇」が悪いことであつたり、利益を得ることができるのは、ほんの一部の人間だけだったりするのです。

こういった相談を聞くと、「悪質商法に騙されない」という意識や知識だけではなく、そもそも、「健全な商売やビジネスとは、どんなものなのか」も、学んでおく必要があるのではないかと感じてしまうのです。

(ひょうご消費者ネット 理事 司法書士 吉江直記)



連絡先

〒650-0011 神戸市中央区下山手通五丁目7番11号兵庫県母子会館2階C
TEL: 078-361-7201 E-mail: office@hyogo-c-net.com

MOVE

2016年度 ひょうご消費者セミナー

スマホ・ケータイに使われていませんか? ～情報という名の落とし穴～

9回目の開催となる、『2016年度ひょうご消費者セミナー』では、スマホ、SNS、インターネット、ゲーム機などの落とし穴について講演いただきます。講師は、NIT 情報技術推進ネットワークの篠原 嘉一さんです。また、適格消費者団体のこれまでに取り組んだ事例を紹介します。

◆とき：**2017年3月1日(水)** 10時～12時30分

◆ところ：**兵庫県農業共済会館7階大会議室**

神戸市中央区下山手通4-15-3
(JR・阪神 元町駅より徒歩10分、地下鉄県庁前すぐ)
※兵庫県民会館 東隣りの建物です

〈講演〉

「スマホ・ケータイに使われていませんか？」

～情報という名の落とし穴～



篠原 嘉一氏 (NIT 情報技術推進ネットワーク株式会社代表取締役)

これまで、情報セキュリティサポーターとして、教職員・PTA・生徒・行政企業研修・県警サイバー犯罪対策課・捜査本部研修など、ネット被害の現状を現実のものとして感じていただくため、講演活動を実施。



〈事例でわかる差止事例〉

*NPO法人消費者支援機構関西(KC's) *NPO法人ひょうご消費者ネット

◆参加費：**無料** ◆定員：**150名** ◆締切：**2月15日(水)必着**

※申し込み受け付けは先着順となります。定員になり次第締め切りとさせていただきます。

◆保育：**無料(1歳半～未就学児)** ※保育をご希望の場合は、お申込み時にご連絡ください。

◆申込方法：会員生協・団体名、お名前、電話番号をご記入の上、兵庫県生協連までFAX・電話・メールでお申込みください。

◆申込先：兵庫県生活協同組合連合会

TEL：078-391-8634 FAX：078-392-2059 e-mail：hyogo@kobe.coop.or.jp

◆主催：コープこうべ、兵庫県生協連合会、ひょうご消費者ネット、消費者支援機構関西

◆後援：兵庫県・神戸市 ※個人情報はセミナー以外の目的で使用いたしません。

編集後記

先日、スマートフォンで調べものをしていて「お使いのシステムは頻繁にウイルスによって破損しています!このウイルスを削除しない場合、携帯電話の重大な損傷原因となります。今すぐ、こちらをダウンロードしてください。」のメッセージと「システム破損まで〇分〇秒」の表示ができました。一旦画面を閉じましたが、その後、何か検索しようとすると同じ画面が表示され、検索できず破損までの時間がせまってきました。ウイルスチェックの契約をしていたので、携帯ショップへ駆け込みました。有料アプリ購入を促す広告の類で、インストールする場合もあり、昨年11月頃より報告が増えているそうです。今回は、事なきを得ましたが、普段は中身もあまり確認せずクリックすることがあるので、いつもと違う画面が表示されたら、落ち着いて確認しないとけないと改めて思いました。(大戸)

県連日誌

- 2月6日(月) 兵協連第5回理事会 (県民会館 1201)
- 2月7日(火)～8日(水) 兵庫JCC
- 2月17日(金) 「虹の仲間づくりカレッジ」(三木市) 兵協連第3回共済生協部会 (県民会館 ばら)
- 2月20日(月) 地方消費者フォーラム in ひょうご (兵庫県農業会館)
- 2月21日(火) 兵協連第4回生活問題研究会 (県民会館 ばら)
- 2月22日(水) 兵協連第3回ピースアクション委員会 (県民会館 ばら)